

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (九州)	◎	一般小売店〔精肉〕（店員）	・供給面では不安があるものの、高価格商品の需要増加が続くと予想している。
	◎	スーパー（店長）	・インバウンドや全国旅行支援により、旅行マーケットが拡大しており、各業種で業績は向上すると考えられる。懸念材料は、インフルエンザ大流行と新型コロナウイルス感染症の感染状況である。
	◎	コンビニ（経営者）	・出入国制限の緩和等により、経済活動がより活発になり、今より景気は良くなると予想されるが、現状の物価高騰や円安の影響が危惧される。
	◎	住関連専門店（従業員）	・冷え込みが厳しくなることで、単価の高い秋冬寝具の需要が高まると想定される。
	◎	一般レストラン（経営者）	・海外からの入国制限が緩和され、インバウンドも見込めるため、大変期待している。インフレではあるが、購買行動では消費を控えている状態ではないため、積極的に営業をしていくが、人手不足が課題である。
	◎	タクシー運転手	・街中の景気は、かなり人の動きも出て良い状況ではあるが、物価高騰や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加など懸念材料はあるものの、現況では良い方向で推移すると見込んでいる。
	○	商店街（代表者）	・まだまだコロナ禍の状態であるが、2年半の経験で新型コロナウイルス感染症防止対策を講じることができ、来街者及び来客は増加傾向である。少しずつ景気回復すると予想している。
	○	商店街（代表者）	・市長選や年賀状、年末商戦が始まり、景気は上向きを予想している。
	○	商店街（代表者）	・物価高の懸念はあるが、年末年始へ向けて景気は上向く。しかし、新型コロナウイルス感染症の発生前までの回復は容易ではない。
	○	商店街（代表者）	・12月、1月は繁忙期になるため景気が若干回復する。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いており、全国的にも大きな被害はない。涼しくなれば地元の野菜が豊富に出回り、寒くなれば鍋料理が多くなるため、循環が良くなってくる。また、イベントも多くなると人の動きも良くなるため、当県に関しては良い景気になってくる。
	○	一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・現在、新型コロナウイルス感染症が下火になっているため、観光や飲食の需要が盛り上がり、勢いが出てくる。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末近くになるとクリスマスには多少の客が増え、正月用品の需要も増加し、売上も上がってくる。
	○	百貨店（企画担当）	・年末年始の外出や集いに際して、準備やギフトの需要が増えると予想される。
	○	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着き、観光客も含め来客数が増加していくことに期待している。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために自粛していたイベントや外商ツアー等が復活することで、徐々に景気が良くなると見込んでいる。
	○	百貨店（経理担当）	・衣料品を含め全体的に売上が良くなっている。西九州新幹線開通に伴うイベントの開催等による観光客の来客数も増加している。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の感染警戒を行っている状態でも、店頭への来客数増加と自家需要の紳士・婦人雑貨、和洋酒に加え、スポーツ関連も堅調である。Webや通販部門は嗜好性の高い舶来雑貨・時計・家電、また和洋酒も好調である。官民一体の販売促進策の実施と非接触QR決済各社のキャンペーンにより、非接触QR決済利用が増加し、年末に向け来客数の回復が望める。
	○	百貨店（販売促進担当）	・年末年始に向け、高額商材の動きが活発化すると予測される。
○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染症発生前の日常生活へ戻りつつあることが、商品の動向に現れている。	
○	コンビニ（経営者）	・デザートなどの嗜好品の商品が伸びており、今までの自粛生活から、やっと抜け出していると感じている。	

○	コンビニ（経営者）	・コロナ禍での行動制限が緩和され、人の動きは活発化している。インバウンド効果もみられ始めており、自店商圏の景気はやや良くなると考えられる。
○	家電量販店（店長）	・相次ぐ値上げで買い控えが発生しており、来客数や成約数共に厳しい状態が続いている。しかし、来月から複数のプレミアム付商品券が利用できるため、今後3か月スパンで考えると現状よりも上向くと予想している。
○	家電量販店（店員）	・この数か月底をほうような動きであったが、家電の買換えの動きが出てくるため、需要も増えてくると予想している。
○	家電量販店（従業員）	・寒くなり、暖房器具の需要が増えるため、景気は徐々に良くなっていく。
○	家電量販店（従業員）	・政府や自治体の需要喚起策による好影響が期待される。
○	乗用車販売店（従業員）	・年末商戦へ向けた取組に期待ができる。
○	乗用車販売店（総務担当）	・10月から新車供給が上向きに転じている。この傾向が続けば、自動車販売店の売上と経常利益は確保できる。
○	乗用車販売店（役員）	・半導体供給不足による減産問題はあるが、今後予定されている新型車投入効果で販売台数増加へつながる。
○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・例年、年末に掛けコーヒーの消費が増加してくる。今月は、新型コロナウイルス感染症発生前と比較すると若干増えていると実感している。12月のお歳暮時期と重なるため、今後のコーヒーの売上は伸びていく。
○	その他専門店〔ドラッグストア〕（企画担当）	・インバウンドにより、売上増加が期待できる。
○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・インバウンドの戻りが加速すれば、売上回復は見込めるため期待したい。
○	高級レストラン（経営者）	・11月や12月は、忘年会があるため、景気は今より良くなると期待しているが、まだ予約は少ない状態である。規制は緩和されているものの、企業関係の客の多くは、新型コロナウイルスの感染を警戒していると考えられる。
○	高級レストラン（経営者）	・景気が悪い一番の要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大である。新型コロナウイルス感染症の感染が繰り返されると人は学習している。新型コロナウイルスの感染対策を心得ており、景気は徐々に良くなっていくと予想されるが、まだ予断を許さない状況である。
○	一般レストラン（スタッフ）	・全国旅行支援が実施され、また年末にもなるため、新型コロナウイルス感染症の収束で人々の動きが活発化する。一方、円安による原料等の仕入高騰に懸念がある。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症が再流行しても、影響は限定的である。
○	タクシー運転手	・ゴルフシーズンとなっており、客の増加に期待をしたい。
○	通信会社（企画担当）	・相談や引き合いも多くなり、受注も上昇傾向が続いているため、3か月後も続く見込みである。人手不足対策も継続して行っている。
○	通信会社（社員）	・この業界では、年末年始に数字が上がる傾向がある。
○	通信会社（営業担当）	・年末の消費活動が前年比で拡大することが予想される。
○	観光名所（従業員）	・現在、貸しボートは条件付きでの営業再開ではあるが、遊歩道についてはまだ通行止めの状態である。また、今年は平年より寒くなる予想のため、当地への道路凍結などが原因で来町できない客も多くなる可能性がある。
○	ゴルフ場（従業員）	・天候に左右される時期であるが、予約状況が前年を上回る入場者を想定している。
○	ゴルフ場（営業）	・国や地方自治体が旅行等の景気対策を継続するため、旅行やイベントで消費が多くなり、景気が良くなる。
○	美容室（経営者）	・年末に掛け繁忙期になるため、徐々に販売量が多くなっており、これから景気回復基調にある。新型コロナウイルス感染症が落ち着いており、人の気持ちに余裕ができることで秋のファッションへと変化し、美容業界も明るくなっている。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しなければ、3か月先に向かい景気回復が見込まれている。
○	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しており、観光など人の動きは良くなりつつある。また、近隣の不動産状況では新築マンションの入居も始まっており、3か月先はやや良くなっていく。

○	美容室（店長）	・全国旅行支援などのクーポン券を利用して食事をする事が多くなっているため、徐々に景気が良くなると期待している。
□	商店街（代表者）	・今月は上向きになっているが、年内はもう少し動きが良くなる。しかし、3か月先は現状と余り変化がないと予想している。
□	商店街（代表者）	・全国旅行支援で、観光業や宿泊業は景気が良くなると考えられるが、全体としてはまだ新型コロナウイルス感染症が落ち着く状況ではなく、インフルエンザの流行も懸念される。例年であれば景気が良くなる12月商戦に向け期待はしているが、変わらないと予想している。
□	商店街（代表者）	・これまで、寒くなると新型コロナウイルス感染症が拡大している。買物や旅行に行けるような感染状況であれば、今までの経験で対策もできるため、期待している。
□	商店街（代表者）	・今から、おでんや鍋料理の季節になるが、来客数が懸念され、売上が非常に心配される。
□	百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きつつあり、行動範囲が拡大することに伴う衣料品や雑貨類の消費も回復傾向にある。反面、物価上昇や燃料費の高騰による買い控えも今後加速していくと予想される。
□	百貨店（業務担当）	・新型コロナウイルス感染症による影響が回復すると予想されるが、一方、物価の上昇というマイナス面もあり、現状は変わらない。
□	スーパー（総務担当）	・食料品の値上げは、今後もしばらく続くと予測されており、加えて、エネルギー価格を始めとして、物価が一般的に上昇している状況であるため、消費者の買い控えが続く。
□	スーパー（経理担当）	・所得が増えないため、様々な商品やサービスの値上げで、家計の全ての費目で節約せざるを得ない状況である。
□	コンビニ（経営者）	・物価上昇と新型コロナウイルス感染症の影響により変わらない。
□	コンビニ（エリア担当・店長）	・過熱式のたばこは段階的に値上がりしており、他の商品の単価も上昇しているため、売上は若干伸びている。しかし、商品の値上げの影響で、来客数は伸びず、1日の来客数も伸びない原因になっている。そのため、今後も売上は足踏み状態になる。
□	衣料品専門店（店長）	・観光など若干良くなっているが、全体的に景気は余り変わらない。
□	衣料品専門店（取締役）	・1月には様々な物が値上げされており、燃料費や運送費の高騰により、需要が減少するなど懸念される。不安材料は少なく、今後も企業努力を継続していき状況を乗り切ることを考えている。
□	乗用車販売店（役員）	・新型車発表を控え一部期待できるが、一方、原材料価格高騰による価格上昇や受注残台数の増加、生産状況の改善と後退の繰り返しといった状況で不安要素が残る。長納期については、客に認識の浸透がみられ、販売手法で変革ができ景気は変わらないと予想している。
□	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の規制は緩和され、人の動向は回復しているが、新型コロナウイルスの新規感染者数は下げ止まり状態である。旅行や外食には金を使っているが、度重なる値上げで、耐久消費財の購入は、しばらく控える傾向が予想される。
□	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・7月と比べると、8月以降は人気映画の影響から全館的に順調な推移となっている。全国旅行支援も始まり、当ショッピングセンターでも集客できるイベントを完全に復活させていく方針である。しかし、物価の上昇は確実に消費者心理に影を落としており、気温が下がってもアパレル部門の売上が伸びず、新型コロナウイルス感染症が終息に向かっても決して楽観視できないと考えている。
□	スナック（経営者）	・10月は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、今まで抑えていた外食等の遊興費を使い始めているが、一方、円安や物価高の影響で支出を抑えることが予想される。そのため、11月は、10月並みの売上が予想される。
□	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・国際情勢の影響が、原価高騰につながっており、その解決が見通せない状況にあるため景気は変わらない。
□	観光型ホテル（支配人）	・今月の状況が良いために、このまま横ばいで継続すると予想している。

□	観光型ホテル（総務）	・年末年始は繁忙期であるが、新型コロナウイルス感染症の第8波とインフルエンザの流行を危惧している。
□	タクシー運転手	・順調な景気回復の期待はあるが、一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大やインフルエンザの同時流行など予測され、加えて、賃金の上昇を上回る物価上昇など不安材料が多い。
□	通信会社（企画担当）	・販売増加の起爆剤になるようなイベントがない。
□	通信会社（統括者）	・来客数は、やや減少気味であるが、店舗でのスマートフォン教室や商業施設での出張販売等の開催により補っている。この傾向は継続しそうであり、先行きの利益面が不安である。
□	学習塾（従業員）	・生徒の保護者の様子では、3か月で劇的に状況が変わるとは考えられない。
□	設計事務所（所長）	・3か月先に今月の結果が出るため、景気は変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・ウクライナ情勢から急激に始まった燃料費の高騰や止まらない円安で、輸出関係の企業では、原材料を高く購入することになり、景気に余り影響していない。また、国内消費でも物価が上昇しているため、景気は上昇しないが、インバウンドの購買状況では、徐々に景気が良くなり景気は変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・分譲事業は一定数の需要があるが、注文住宅は競合他社との商談も増えており、厳しい状況が続いていく。
▲	商店街（代表者）	・物価上昇により、節約を迫られることになり、売上は落ちていく。また、今後電気料金の値上げが予想され、新電力会社の撤退で、小規模店舗など、倍の電気料金になっているところもあり、経営を脅かされている。企業に対しての助成金給付等対策に期待したい。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・今年は養殖物が3割近く上がり、年末商戦はとて期期待が薄い。一番の稼ぎ時であるが不安しかなく、当市ではとても深刻な状況となっており、今後が懸念される。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・全国旅行支援も関係がない業種であり、原材料の仕入高騰で今後の売上が期待できない。客の買い控えもあり、今後更に厳しくなると予想される。先行き不透明であり、小規模小売店にも再度の国の支援を期待したい。
▲	スーパー（企画担当）	・物価上昇が常態化すれば、買い控えに拍車が掛かり、景気は悪い方向になると考えられる。
▲	コンビニ（経営者）	・今後もこのままの状況が継続され、また、物価上昇も続くようであれば、店の経営状況は厳しくなり、閉鎖をせざるを得ない状況になるため、不安しかない。
▲	コンビニ（エリア担当）	・値上げはまだまだ続くため、景気は悪くなる。
▲	コンビニ（エリア担当・店長）	・円安の影響で、景気が悪くなる。
▲	衣料品専門店（店員）	・年明けに新型コロナウイルス感染症の第8波が襲来する話を客からよく聞くようになり、先行きが不安である。
▲	家電量販店（店長）	・プレミアム付商品券の効果は一時的と予想している。また、巣籠り需要によって需要を先食いした影響もあり、販売量は減少すると予想される。
▲	家電量販店（店員）	・家電製品は、新商品から価格が上がっている。食料品も値上がりし、また、耐久消費財の新規購入は高額であるため、安く済ませようと部品交換で性能を良くする動きが見受けられる。景気が良くなる好材料がないため、このまま悪くなるのではないかと危惧している。
▲	乗用車販売店（代表）	・円安やコロナ禍の影響で、ますます悪くなる。
▲	居酒屋（経営者）	・当地では、まだインバウンド需要が高くないが、今後のインバウンドに期待をしている。しかし、新型コロナウイルス感染症の第8波が心配である。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・旅行会社やOTAからの全国旅行支援が予算上限に達し始めたため、今後の新たな施策に期待している。
▲	旅行代理店（職員）	・全国旅行支援が12月後半で終了予定であるため、若干景気が悪くなる。
▲	通信会社（役員）	・当社のテレビプランのなかで、3000円台の多チャンネルプランから、1000円台の民放・地元情報プランへの移行が続いている。
▲	競馬場（職員）	・生活用品の物価上昇が、余暇支出に影響を与えるおそれがある。

	▲	美容室（経営者）	・年明けには、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大、加えて、商品の値上がりで、財布のひもが固くなる。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・ウクライナ情勢もあり、冬場を迎え原油の一層の価格上昇が予想される。また、円安基調にも歯止めが掛かるとは考えられず、更に悪化するのではないかと危惧している。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス感染症の第8波は今まで以上の拡大が想定されるため、サービスキャンセルの増加に伴う減収とコストの増加により、更なる損益悪化が予測される。
	▲	設計事務所（代表）	・物価高騰や金利の上昇で景気は若干悪くなる。
	×	百貨店（総務担当）	・更なるエネルギー原材料の価格高騰が予想され、懸念される。
	×	観光型ホテル（専務）	・全国旅行支援が終了するため、来客数が減少するのではないかと懸念している。
	×	設計事務所（所長）	・今後も材料や製品価格の値上げもあり、どこまで上昇していくのか不透明である。一方、収入は増えず、生活必需品の価格が高騰しているため、可分所得が目減りし、家の新增改築に充てる状況にない。
企業 動向 関連 (九州)	◎	—	—
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末に向けた購入が見込まれるため、やや売上が上向いていく。
	○	化学工業（総務担当）	・業績が改善方向に向かう見込みである。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・恐らく3か月先の間には、半導体の供給がうまくいくと予想され、そうなることで本来の状態に戻り、景気がやや戻ってくると考えられる。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・電気自動車関連は、来期以降も引き合いがある。
	○	金融業（従業員）	・百貨店やスーパーマーケットの販売が持ち直しており、住宅販売のほか飲食業の売上も回復基調にあり、旅行の予約等も大幅に増加していく。
	○	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に拡大しない限り、人の消費動向は今後も活発になる。特に観光業等は年末に向け盛りになり、サービス業を中心に景気が良くなると予想される。
	○	不動産業（従業員）	・賃貸オフィスの入居率が上昇傾向にある。
	○	新聞社〔広告〕（担当者）	・旅行や観光関連の広告出稿に期待したい。
	○	広告代理店（役員）	・年末にかけて、キャンペーン件数が増加する傾向にある。また、自治体の外部委託件数が増えており、今後大きなビジネスチャンスになる可能性もある。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・全般的に新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつあり、このまま新型コロナウイルス感染症が落ち着いていけば、間違いなく景気は上昇すると考えている。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・Webや資料請求の問合せが多くなり、人材投資に積極的な企業が増加している。
	□	農林水産業（経営者）	・通年11月は、年末を控えて需要が落ちる月であるが、12月に入ると繁忙期になる。前年は新型コロナウイルスの新規感染者数が少なく動きが良かったが、今年は現況が継続するとかかなり期待できる。特に落ち込んでいた会食部門の景気が戻ってくると予想され、今まで控えていた忘年会等を、安全策を講じながら行われるため期待される。
	□	繊維工業（営業担当）	・景気に変化が出るような対策がないため、3か月ほどで今の状況は変わらない。
	□	家具製造業（従業員）	・中小規模の案件情報は比較的少なく、競争激化の大型案件が多い状況である。材料の価格高騰や円安における輸入経費の圧迫により、一段と利益確保が難しい状況が続いている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・原材料の価格高騰や受注関係が順調に運ばれるとよいが、値上げが市場へ浸透することは、なかなか難しい面があり、悪い状態が続くのではないかと心配している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いなどの状況から、当分の間は現状の受注ペースが続くものと予想される。
□	電気機械器具製造業（経営者）	・まだまだ受注残を抱えているため、景気は変わらない。	
□	電気機械器具製造業（総務担当）	・今後の半導体や自動車関連の見込みは変わらない。	

	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業 (営業担当)	・次月も当初計画より減少している。3か月後の上振れは期待できないが、当初計画台数を維持する予定である。新規投入車種への半導体供給の問題が散発的に続いているため、状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・現状では、客から将来に向けたライン増設や新規立ち上げの話はあるものの、具体的に動いてはいない。まだまだ時間が掛かる状況である。
	<input type="checkbox"/>	建設業(社員)	・新型コロナウイルス感染症の予算だけではなく、公共工事の大型補正予算の計上も期待している。今年前半はほとんど公共工事が発注されず苦しかったため、来年は発注時期の考慮を望んでいる。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(従業員)	・円安の影響で各社厳しい状況であり、企業によっては現在より更に円安が続くと考え、厳しい輸入状況ではあるが、現時点で在庫を抱えておく対策を採り、利益を確保する手段を考えている。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(総務担当)	・世界情勢、原油高、円安など不安要素は多くあるものの、インバウンド効果などプラス効果もあり、景気動向としては大きく変わらないと予測する。出荷量は消費量に比例するため、今後も注視していくが、新型コロナウイルス感染症発生前の出荷量を期待している。
	<input type="checkbox"/>	通信業(職員)	・材料不足の影響で携帯電話基地局工事の完工が延びており、売上目標に対して厳しい状況となっている。
	<input type="checkbox"/>	通信業(経理担当)	・情報機器の調達リードタイムが長く、客への納品予定日を後倒しする状況になっているが、受注量には特に影響は出していない。
	<input type="checkbox"/>	金融業(調査担当)	・製造業や非製造業共に、回復の兆しはみえるものの、双方とも先行きの不透明感が拭えない。また、都心部では、新型コロナウイルスの新規感染者数や入院患者が増加に転じているとの見方もあり、感染拡大による人流抑制が懸念される。
	<input type="checkbox"/>	金融業(調査担当)	・新型コロナウイルス感染症の第8波への警戒やインフルエンザの流行などが懸念され、消費マインド高揚の足かせとなる。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店(従業員)	・新型コロナウイルス感染症第8波の状況と、円安による物価の上昇、ロシアのウクライナ侵攻の影響による食料やエネルギー不足、サプライチェーンの寸断等、先を見通すのが困難な状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント(社員)	・業務用卸は好調に推移するが、消費者は値上げの影響で購入数が減っている。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント(社員)	・現在の沈滞ムードは、急速には変わらない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔物品リース〕(職員)	・円安傾向が続き、長期金利も上昇傾向にあるため、当面の動向に変化がみられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業(経営者)	・今年も農産物原料の病害が懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業(事業統括)	・材料費の値上がりが尋常でないため、販売価格への転嫁は他社との競争に悪影響を及ぼしている。現況は受注量が低下傾向であり、今後の景気は悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業(従業員)	・今月は、公共工事の受注が入り景気は良くなるが、周辺では円安や資材の高騰等の影響で、現在より悪化する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業(営業)	・円安や物価高騰が続くことになれば、家計に対するダメージが拡大し、消費が低迷すると考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業(経営者)	・現在の我が国の経済が、他国に比べて良くない状況であるため危惧される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔コンサルタント〕(代表取締役)	・市町村の9月補正予算でも、新型コロナウイルス感染症対策費用の計上が多く、計画や調査、設計等の業務が予算化されていないため、受注の機会が減る状態が続くものと推測される。発注があっても、入札指名業者のダンピングにより低価格競争となり、受注が難しい状況もあるため、景気が悪い状態が続く。
雇用 関連 (九州)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社(社員)	・年末年始に向けて、忘年会や新年会が増加する予定である。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス感染症対策の緩和からサービス業を中心に求人数が増加傾向である。求人単価も上昇傾向となっており、求職者の動きも活発化してくると予想される。

○	人材派遣会社（社員）	・先付けの欠員補充などの情報も活発に動き出しており、早めの案件も多くなり、求人への反応は、少し上向き傾向になっている。
○	人材派遣会社（社員）	・イベント等も増加し、単発的な注文が増えている。県外企業からの問合せも多くなり、既存の取引先から年末へ向けた注文を既に受注している。
○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が、若干増加傾向にあるが、国内・海外旅行や、年末商戦に向けての新聞広告に大きくブレーキが掛かる状況にはなく、現況が続けば、今後の景気は良くなる。しかし、人の動きが活発化すると新聞広告でウエイトが高い通販広告は、既に影響が出ており、今後の懸念される。
○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける宿泊業や飲食業、卸売業、小売業の新規求人数が増加傾向にある。
□	職業安定所（職員）	・宿泊業から個人客、団体客の問合せが増加しており、稼働状況が高くなっている。全国旅行支援の問合せも多くなり、宴会についてもこれまでの制限が緩和されたことで、受付が増加している。今後の見通しは、新型コロナウイルス感染症の感染状況に変化がなければ、業務量増加で推移していく。また、建設業は大型の公共工事が一段落しているが、特に業務量に影響はないと考えられる。一方では、原材料の値上げによる物価上昇により、収益が悪化している企業もあり、当面は横ばいが継続される。
□	民間職業紹介機関（職員）	・求人数が増加しており非常に状況が良くなっているため、今以上に良くなることは考えられない。一方で、コロナ禍で求人を絞っていたため、慢性的な人材不足もあり、これから求職者の状況が悪くなることは考えられない。
□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・円安改善の兆しが全くみえない。
□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・政府の水際対策緩和が実施され、海外からの観光客が増えてくるなど新型コロナウイルス感染症の防疫と経済活動の両立が進み、日本経済には明るい兆しもみえてきた。その一方で、冬以降の新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの流行予測が報道されるなど、まだまだ予断を許さない状況は続いている。また、依然ウクライナ情勢の長期化や円安の影響により、今後も物価高騰が続く見通しであることから、値上げなど日本経済への影響も大きくなっている。この状況は、まだしばらく続くと予想されるため、今後の景気や企業の求人数にも注視し続ける必要がある。
▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・年末年始需要に備えたいところであるが、全体的に動きが鈍いため、どの企業も慎重にならざるを得ない。この時期にしては求人需要が冷え込んでいる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年金の減少や物価高騰、加えて各種税金も上昇するような報道が増えている。こうした状況が続けば、今後ますます心理的に不安になり、景気は一層悪くなる。
×	—	—